

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年12月11日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0891700064		
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター取手	ユニット名	1F
所在地	〒302-0021 茨城県取手市寺田4697-1		
自己評価作成日	平成24年3月23日	評価結果 市町村受理日	平成24年9月20日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0891700064&amp;SCD=320&amp;PCD=08">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0891700064&amp;SCD=320&amp;PCD=08</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年5月9日	評価確定日	平成24年9月20日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>平均介護度が2.1ということもあり、一人ひとりが役割を担い、生きがいを感じられ、また、ボランティアの方のご協力により、習字・日本舞踊・三味線・フラダンスなどを月に一回以上開き、さらに近隣のお店に散歩がてら買い物に出かけたり、タクシーやバス・電車を利用して、市外へ出かけたりと今までと変わらない充実した生活を送れる様に様々なレク等を用意している</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事務所には管理者と介護支援専門員、事務員が常勤しているため職員はいつでも相談することができ、活気のある事業所である。 管理者は利用者の自立度を高めるための意識が高く、それに応えるように職員も介護現場の声を積極的に届けながらケアの充実やサービスの質の向上を目指している。 屋内で犬を飼い、動物がもつ癒しの効果を取り入れている。</p>
---

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は、入口、1・2階ユニットに掲げ、スタッフと共有し実践している	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を玄関と各ユニットの共用空間に掲示している。職員は出勤時に玄関に掲示している理念を確認し、利用者が地域と密着した生活ができるよう理念にそったケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の交流センターに将棋を指しに行ったり、スーパー等へ買い物に出かけている。季節の行事の際にも声をかけていただけ、参加している。	利用者は職員と一緒に近隣の交流センターで開催される映画会や子ども会の行事に参加しているほか、将棋を指しに日常的に出かけている。民生委員の協力を得て年1回開催する事業所の文化祭のチラシを地域住民に配布して多くの方の参加を得るなど、地域との交流に積極的に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	習字などのボランティアの方に毎月来ていただき、交流を深めながら職員の関わり方や入居者様の様子を見ていただいている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一度、家族代表・地域包括職員・民生委員の方に参加頂き、その席で出た意見等はスタッフに落とし、日々のケアの参考にしている。地域の方に声掛けはしているものの参加には至っていない	運営推進会議は家族等や市職員、民生委員、管理者、ユニットリーダーで開催しているが地域住民の参加を得るまでには至っていない。市職員に運営推進会議の年間開催計画を知らせているが、全ての運営推進会議に参加を得るまでには至っていない。会議では利用者の入退去状況を報告したり、感染症予防対策の状況報告のほか、家族等から出た意見や要望を話し合い、サービスの質の向上に活かしている。	事業所の地域には自治会や町内会が無いという背景があるが、市と相談し運営推進会議に地域住民の参加が得られるよう取り組むことを期待する。福祉サービス向上のため、市職員もしくは地域包括支援センター職員においては全ての運営推進会議に参加することが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要に応じて担当の方とは連絡・連携を取り、問題解決や入居等に繋がっている	管理者は市担当者に事業所の空き状況を報告したり事業所で解決できない問題について連絡を取っているが、運営推進会議に地域住民の参加がないことを相談するなど、協力関係を構築するまでには至っていない。	管理者は日頃から市担当者と連携を密に取り積極的に相談するなど、協力関係を築くよう取り組むことを期待する。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会社作成のマニュアルを用いて定期的に研修を行っている。排除に関するマニュアルは作成されていないが、類似内容がマニュアルに記されており、研修を通じて職員と共通理解できており、現時点でも身体拘束は実施していない。ただし、防犯上の理由から、夜間のみ入口を施錠している	管理者や全職員は本部が作成した身体拘束排除に向けたマニュアルを基に定期的に研修を実施している。 職員は紙おむつを重ねることも拘束と捉えるほど丁寧なケアを心がけており、玄関の施錠を含め身体拘束をしないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	各種研修を通じて理解を深めると同時に報告・連絡・相談を密にし、細心の注意を払って対応している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	県などの各種研修にスタッフだけでなく、事務員・ケアマネ・管理者も参加し、理解を深め、日々の実践に取り入れている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者・ケアマネにおいて難解な言葉を避け分かりやすい言葉で説明し、随時相談を受け付け、理解・納得を得られやすい環境を用意している		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	本社においてアンケート調査を実施しており、ホーム独自のアンケートに関しては実施の予定はない。随時相談を受け付けおり、理解・納得を得られやすい環境を用意し、そこで出たものに関しては、現場にも落とし改善に努めている	玄関に意見箱を設置するとともに、重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記しているが、その活用実績はない。 家族等の来訪が多く、来訪時に意見や要望を聴いているほか、日中事務所には管理者や介護支援専門員、事務員が常勤しており、「開かれた事務所」をモットーに苦情や相談にはいつでも対応するなど、相談し易い環境づくりに努め、出た意見等は運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のカンファや会議だけでなく、日頃から職員が相談や意見が言える環境づくりに努め、その声を運営に活かす様に努めている	職員は運営に関する課題や問題点について意識が高く、月1回の会議だけでなく日常的に介護現場の声を管理者に伝えている。 管理者は事務所に常勤し、職員がいつでも相談し易い雰囲気づくりに努めており、職員は積極的に相談したり意見を出し、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアアップ制度（時給アップ）を設けており、スキルアップやその努力に応じた昇給・昇格を図っている。また、各々が十二分にスキルを発揮出来る様にトップダウンではなく、ボトムアップによる意見集約を行うことで自発的な行動を促す体制にしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年に数回本社主導にてテクニカル研修が実施され、各々のスキルアップが図られる研修が実施されており、また、外部研修への参加も促している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市内にて運営しているホームの管理者が集まって報告や検討を行う地域連絡会への参加も奨励し、研修も実施し、スキルアップも行っている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ケアマネと共にユニットスタッフ・管理者がご利用者様の声を傾聴し、また、それを繰り返すことで強い信頼関係作りを行っている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	管理者・ケアマネは心理カウンセラーの資格を有しており、その知識・経験を活かして、常に事務所を開放し、面会に訪れた時などに気軽に質問や相談が出来る様にしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネ・管理者がご家族並びに利用者様の状況を鑑みながら系列の事業所並びに近隣事業所へのサービス利用を促している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	残存機能を鑑みながら、かつ、声を傾聴し、利用者様がその人らしく生活できる様に支援し、職員は後方支援的役割に徹し、自発的な生活が営める様にアドバイスする程度のケアをしている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	素朴な疑問等を傾聴し、信頼関係を構築しながら共にケアする関係作りに努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族等と食事に出かけたり、友人がボーリングや映画などに誘いに来たり、入居前から通っていた将棋会へ引き続き通ったり、また、なじみのスーパーへ職員と一緒に買い物に行ったりしている	日常的に友人や家族等の来訪が多く、来訪が遠のいてる家族等には職員が電話をかけるなど、関係継続支援に取り組んでいるほか、行き付けの店での食事や馴染みの店での買い物など、利用者がこれまで大切にしてきた人や場所との関係が途切れないよう努めている。 利用者も友人も「ホームは自宅」との認識であり、職員は来訪し易い雰囲気づくりに努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事時などに職員が間に入りながら他の方との会話を楽しんだり、食事作りなどの作業を共に行いながらコミュニケーション等が希薄にならないように努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院先が提携病院でもあることから、通院等で病院を訪れた際に面会し、その支援に努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のケアの中で、話を傾聴しながら、その思いを汲み取りケアに活かしている	職員は利用者との日々の係わりや会話の中から思いを汲み取りケアに活かしている。 思いの把握が困難な利用者の場合は、職員が話題を提供した時の利用者の表情から思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント等を通じてその把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のケアの中で、話を傾聴しながら、他のスタッフ等と話し合い、記録したりし、その把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネは、随時家族と面談し意見集約し、それを迅速にカンファにて討議し計画に反映することに努めている	介護計画は管理者と介護支援専門員が中心となり、利用者の希望を聞いたり家族等との面談で意見等を聞き、介護計画に反映させるとともに、ユニット毎のカンファレンスで検討して作成している。 短期目標は3ヶ月、長期目標は6ヶ月を設定期間として見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきや工夫に関しては職員間で個人差があるものの概ね出来ているが、今後は、研修をさらに重ねて極端に職員間で気づき等に格差が出ない様に努めていく		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	現時点では、職員間にスキルの格差がある為、柔軟な支援とまでは行かず、画一的な支援が否めない状況であり、研修等を重ね、その支援に早急に取り組める様に努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	その様にしている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	その様にしている	利用者18名中2名は協力医療機関以外の医師をかかりつけ医とし、受診は家族等が対応している。 他の16名は事業所の協力医療機関の医師をかかりつけ医とし、職員が受診を支援している。 受診結果はその都度家族等と報告し合っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携先の訪問介護の看護師との関係も良好で、些細な異変等の連絡でも快く対応くださり、職員も得られたアドバイスに基づき対応している。また、この良好関係が継続する様、職員一同努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携先病院との関係も良好で、今もこれからもその様にさらに努めて行く		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在、ホームでは行っていない為、入居時または、普段からご家族様等と話し合い、提携医並びに訪看への橋渡しをするなどの対応を行っている	看取りは行わない方針であることを契約時に利用者や家族等に口頭で説明し、利用者が常時医療的ケアが必要になった段階で病院へ移行することとしているが、事業所の方針を明文化したり書面で同意を得るまでには至っていない。	重度化や終末期に向けた事業所の対応方針を明文化するとともに契約時に利用者や家族等に説明し、書面で同意を得ることを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署等において応急処置講習を受講し、また、訪看や提携医より指示を仰ぎその実践力を深めている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	スプリンクラーの各居室及びフロアへの設置工事も終了。避難訓練は、近隣住民にも声はかけているが、なかなか多くの参加者は得られていない。ただし、普段から散歩や買い物などで近隣の方との関わりはある。今後は、付近の方達の予定にも合わせた訓練の実施を検討する	消防署立会いのもと、年2回避難訓練を実施するとともに実施記録を作成している。 事前に地域住民に避難訓練への参加を働きかけ民生委員1名の参加を得ているが、近隣住民の参加を得るまでには至っていない。 避難訓練終了後に消防署からの総括があり、指摘を受けたことを職員で話し合っている。 防災設備業者による消火器等防災機器の定期点検をしているほか、食料や飲料水などを3日分備蓄している。	日頃から近隣住民との係わりを深め、避難訓練に協力が得られる体制づくりを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人らしさを尊重したケアを心がけており、言葉かけについてもその様に対応している	利用者一人ひとりの誇りや自尊心を傷つけないよう言葉かけに留意しており、職員の不適切な対応があった場合は職員同士で注意し合い、プライバシーを損ねないケアに努めている。 個人情報ファイルは、施錠はしていないが事務員が常勤している事務所で保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自発的に行動したり意思表示できる様に本人のニーズ喚起を日々のケアの中で実践し、それを深める様に対応している		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自発的に行動したり意思表示できる様に本人のニーズ喚起を日々のケアの中で実践し、それを深める様に対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自発的に行動したり意思表示できる様に本人のニーズ喚起を日々のケアの中で実践し、それを深める様に対応している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	残存機能を考慮し、また、自発性を促す声かけを行い、できる範囲内で準備から片付けまでを共にしている	献立はユニット毎に利用者と相談して決めている。 好き嫌いのある利用者のために、焼きおにぎりやゼリーなどの代替品を常備し、工夫した献立で食事が楽しいものとなるようにしている。 利用者は食事の準備から片付けまでそれぞれに役割を担い、嬉しそうに係わっている。 職員は季節や行事に合わせた特別食を取り入れたり、出前などで食事に変化をつけているほか、会話をしながら食事が楽しめるよう支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	簡易計算による必要量を算出し、それに基づいて日々ケアにあたっている		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	残存機能を考慮したケアを行い、毎食後、実施している。また、訪問歯科による定期的な口腔ケアも実施している		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ADLを鑑み、また、日々の食事量や水分量等を考慮し、パットの使用量の軽減や自力排泄の促しを日々のケアに取り入れている	職員は利用者一人ひとりの排泄記録表から排泄パターンを把握し、時間を見計らってさりげなく声をかけたりトイレ誘導し、トイレで排泄ができるよう支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	下剤等に頼らず自力排泄できる様食事や生活の見直しをはかり、また、提携医や訪看との連携を深め、そうした予防・対応に努めている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご本人の意思を優先した入浴対応となっており、最低でも週二回は入浴している	入浴は最低週2回を基本としているが、利用者の気分や体調に合わせて柔軟に対応をしている。 入浴を拒む利用者には、なだめながら入浴ができるよう支援し、清潔保持に努めている。 季節に合わせて菖蒲湯や柚子湯を取り入れたり、入浴剤を使用して入浴が楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の生活リズムを尊重し、その様になっている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を職員が把握し、また、提携医と連携し、その理解を深め、日々その確認にも努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	センター方式にてご家族様等から情報収集し、生育歴を踏まえたケアプランを作成し、それに基づいた生活の流れ作りに努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候の良い日には、以降に基づき近隣等への散歩に出かけ、ご家族様においても積極的に面会に来ていただけており、その際、食事や散歩等ご本人の意向を踏まえた対応が取れている	利用者は職員と一緒に日常的にスーパーに買い物に出かけたり、散歩をしながら近くの交流センターに出かけている。 職員は利用者の希望にそった外出支援に取り組んでおり、季節に合わせて苺狩りなどの遠出をする場合は、1台9人乗りの介護タクシーを利用している。 利用者は家族等と一緒に外食に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事務所にて保管しており、ご本人の意向において、安全面を考慮し、それに基づき必要額のみお渡しし、買い物等に出かけるなどのケアを行っている		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公平性等の観点から時間制限は設けているものの、時間内においては、電話使用できている。手紙に関しては、制限なくやり取りしていただいている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた壁面作りを共に製作し、掲示するなどして環境美化等に考慮している	広々とした居間にはテレビやソファが置かれているほか、居間の一角には落ち着いた雰囲気のと室コーナーがあり、利用者は思い思いにゆったりと過ごしている。 壁には行事の写真や利用者の作品の習字のほか、季節感のある切り絵で壁を彩り、明るい共用空間づくりに努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアやテラス等を常に開放し、ご利用者様同士が何時でも集える環境を整備している			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族に対して入居の際や面会の際などに依頼し、その工夫を図っている	利用者は居室に思い出の物品や仏壇、タンス、テレビ、マッサージ機、家族の写真など馴染みの物品を持ち込み、落ち着いて暮らせる居室づくりをしており、生活感のある居室となっている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	間違いやすい所には、立て札の様なものをつけるなどして混乱を防止し、自らの意思や力で行動できる様に配慮している			

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 ニチイケアセンター取手

作成日 平成24年12月11日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	近隣住民との係わりを深める	認知症対応型施設の認知度を上げる	・当社独自の「ニチイ祭り」への近隣住民への開催・参加の呼びかけ ・近隣施設への買物 ・近隣の催し物への参加	随時
2	3	年6回の運営推進会議への地域包括支援センター様の参加	全ての運営推進会議に市職員様か地域包括支援センターの職員様の参加	・年間行事予定をたてる ・開催2週間前に、確認のための「おしらせ」を配布、発送を行う	随時
3	4	市町村との連携	市職員様・包括支援センターの職員様に、催し物や運営に関する相談をする	催し物にさいしての道具やボランティア施設などの相談等をする	随時
4	33	重度化や終末期に向けた方針共有と支援	契約書への記載	社内該当部署への働きかけ、提携医・施設との強硬な関係作り	随時
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。